

# 「スタートカリキュラム」 参観会を実施しました

## 「スタートカリキュラム」とは？

小学校入学後からおおむね2か月間に実施される小学校1年生のカリキュラムです。そのねらいは、幼稚園・保育園で遊びを通して育まれてきた力を、小学校で更に伸ばしていくことです。

令和3年4月、市内全小学校で「スタートカリキュラム」参観会を実施しました。市内の幼稚園・保育園の幼保小連携推進委員や園長が、近隣の小学校を訪れて、「ひらがなの文字指導」、「算数ブロックを使った数の数え方」といった教科指導や、司書教諭による「図書館での本の借り方」、栄養教諭による「給食の配膳の仕方」、「体育着の着替え方」等、学校生活そのものに慣れるための学習を参観しました。

活動時間を15分程度に区切ったり、ICT機器を使って興味をひいたりするなど、どの学校でも、発達段階を踏まえた工夫がされており、児童は意欲的に学習に取り組んでいました。

参加者からは、「小学校の先生方が、一人一人の実態に配慮した言葉掛けをしている姿に感心しました。」「就学前に園児に身に付けさせたいことを見つめ直す良い機会となりました。」といった感想が寄せられました。

今後は、小学校の教員が幼稚園・保育園を参観する場を設けるなどして、相互理解を深めながら、就学前教育と小学校教育との円滑な接続及び学びの質の向上を図ります。

問合せ 教育指導課指導係 ☎551・1538



▲各先生方が協議する様子



▲給食の配膳の仕方の練習



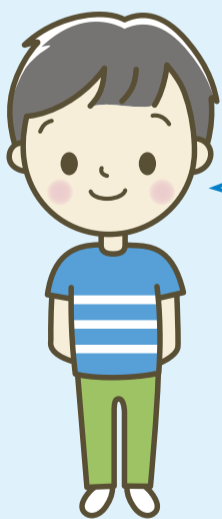
▲算数科の授業の様子 (ICTを活用した教材提示)

## 福生市の特別支援教育について

市では、さまざまな要因によって学習面や生活面・行動面において支援を必要とする子どもたちに、きめ細かな適切な支援を行うことができるよう特別支援学級等を設置しております。

入級・転学にあたっては、事前に相談が必要となります。お早めに在籍されている学校、もしくは教育相談室にご相談いただき、お子さんに適した支援を活用してください。

### こんな心配はありませんか？



- 学校に行けない、行きたくない
- 知的に遅れないのに学習効果があがらない
- 落ち着きがなく、集中ができない
- 友達とうまく遊べない
- 集団行動が苦手
- こだわりが強い
- 新しいことが苦手
- 学校だと話せない
- 吃音きつおんが気になる など

### 小・中学校入学予定のお子さんの就学相談も行っています

令和4年4月に小・中学校へ入学予定のお子さんの相談も受け付けています。お子さんにとって良い学校生活が始まるよう、ぜひご相談ください。

お気軽にお電話ください

#### 【教育相談室受付時間】

月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分

問合せ 教育相談室(子ども応援館2階) ☎551・7700

### 教育支援相談(就学相談)から就学先等決定までの流れ

#### 《福生市の特別支援学級》

- ◇知的障害特別支援学級(一・二小・一中)
- ◇自閉症・情緒障害特別支援学級(六小・一中)
- ◇特別支援教室(全小・中学校)
- ◇言語障害通級指導学級(七小)

#### 《特別支援学校》

- ◇東京都立羽村特別支援学校(知的障害)
- ◇東京都立あきる野学園(肢体不自由)

#### 《教育支援相談(就学相談) 申込み》

保護者から教育支援相談(就学相談)の申込みをいただきます。

#### 《保護者・お父さまとの面接》

教育相談室の相談員との面接や検査等によりお父さまの状況を把握します。

#### 《関係機関との連携》

保育園や幼稚園、小・中学校を訪問し、お父さまの普段の様子を観察するなど状況を把握します。保護者の了承のもと、保育園や幼稚園、学校、病院主治医に資料作成を依頼します。

#### 《特別支援学級や特別支援学校等の見学・体験入学》

保護者のご希望やお父さまの状況に応じて、見学・体験入学を実施します。

#### 《教育支援委員会》

小・中学校の校長や特別支援学級担任、専門医、教育委員会職員等で構成する教育支援委員会で、お父さまの就学先について協議します。教育支援委員会の判定を保護者にお伝えし、保護者の同意をもって最終的な就学先・支援先を決定します。

#### 《就学先・支援先の決定》

小・中学校へ入学・転学・支援開始

※ 小学校・中学校に在学中の児童・生徒が「特別支援教室」の支援を利用する場合は、教育相談室へ申し込む前に、在籍校に相談して下さい。